

2020年9月16日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研

婚活実態調査2020

～新型コロナウイルス感染症影響調査篇～

- ✓ **新型コロナウイルス感染症流行中でも約7割は婚活サービスを継続利用。恋愛・結婚意向のある独身者の約4割は恋愛・結婚意向がさらに高まり、将来をイメージする時間が生まれたことが関係している可能性**

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都品川区 代表取締役社長 柏村 美生)が運営するリクルートブライダル総研では、婚活の実態について詳細を把握するために、「婚活実態調査2020」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

<新型コロナウイルス感染症流行による婚活への影響>……………P4-7

新型コロナウイルス感染症流行中でも約7割は継続的に婚活サービスを利用

- 2020年4月から5月までに婚活サービスを利用していた人の約7割は、以前から利用し継続中。利用を中止した割合は2割にとどまる
(以前から利用し継続中：70.3%/4月～5月に利用開始：9.2%/4月～5月に利用中止：20.4%)。

新型コロナウイルス感染症流行により、恋愛・結婚意向が高まった人の割合が約4割。「人と過ごすありがたみ」や「将来を考える機会」が増え、将来をイメージし、誰かと共に生きる意欲が増した可能性あり

- 新型コロナウイルス感染症流行により、もともと恋愛・結婚意向があった独身者において、恋愛・結婚意向がさらに高まった割合が約4割(恋人がほしい 37.5%/いずれは結婚したい 41.6%)。
- 恋愛・結婚意向が高まった人は、そうでない人と比較し、「人と過ごすことのありがたみ」「時間ができて将来を考える機会」が高まった・増えたとする割合が高い。恋愛・結婚意向の変化と「人と過ごすことの貴重さ」「将来を考える機会」との関係が深い。

新型コロナウイルス感染症流行により、結婚相手に求める条件に変化。「経済的安定」に加え、「長時間一緒にいても苦にならない」など、“パートナーとの距離感”への関心が高まっている

- 新型コロナウイルス感染症流行によって重視されるようになった結婚相手に求める条件の上位7項目は、「安定した収入」「安定した職業」「長時間一緒に過ごすことが苦にならない」「相手の健康面」「自分との価値観が合う」「個人の時間を尊重してくれる」「二人の時間を大切にしてくれる」。

オンラインデートは、費用・場所・時間にとらわれないデートの手法として認識されている。効率的に関係を進められる手法として広まる可能性がある

- 新型コロナウイルス感染症流行中の婚活サービス利用において、約3人に1人は「オンライン婚活であれば、コロナウイルス感染症流行中でもできる」と捉えている。
- オンラインデートに対する意識において、「費用を抑えながら婚活ができる(45.5%)」「周囲の目線を気にせず会える(35.8%)」「リアルで会うより時間が自由(35.6%)」と捉えている。

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、「婚活実態調査2020(リクルートブライダル総研調べ)」と明記いただきますようお願い申し上げます。

◆「婚活実態調査2020」の詳細は、下記広報担当までご連絡ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要①】

■2020年調査(2019年のデータ) 1次調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2020年5月15日(金)～2020年5月19日(火)

【調査対象】 全国の20～49歳の男女

【有効サンプル数】 50,000サンプル

(調査にて120,000サンプルを回収し、その中から平成27年度国勢調査をもとに、未既婚×性別×年代(5歳刻み)24セルの人口構成比に合わせて50,000サンプルを抽出した)

■2020年調査 2次調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2020年5月22日(金)～2020年5月24日(日)

【調査対象】 <共通条件>

全国の20～49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者)

※独身者とは、結婚経験のない未婚者および結婚経験のある(死別・離別の)現在未婚者

<個別条件>

・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人

・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人

【有効サンプル数】 2,400サンプル

本調査では、婚活サービス利用有無・性別・年代・未婚状況別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に、実際の婚活サービス利用有無(1次調査)、性別・年代・未婚状況別の人口構成(平成27年総務省統計局国勢調査)に合わせるために、サンプルに重みづけをおこなった(ウェイトバック集計)

ウェイトバックに使用した補正値は、1次調査を用いて各セルの出現率をもとに算出した

<本調査回収サンプル構成>

利用者						非利用者									
結婚経験なし			結婚経験あり(死別・離別)			結婚経験なし			結婚経験あり(死別・離別)						
子なし			子あり			子なし			子あり						
男性		女性	男性	女性	男性	女性	男性		女性	男性	女性	男性	女性		
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代
150	150	150	161	176	113	150	130	150	150	150	150	150	150	150	170

<ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成(全体構成比)>

97	36	15	84	35	9	10	13	477	329	297	433	214	204	70	76
(4.0%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.5%)	(1.5%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(19.9%)	(13.7%)	(12.4%)	(18.0%)	(8.9%)	(8.5%)	(2.9%)	(3.2%)

利用者・計:300サンプル(12.5%)

非利用者・計:2,100サンプル(87.5%)

※ウェイトバックによる補正をおこなっているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。 人口構成比算出元データ 平成27年総務省統計局国勢調査より

■2020年調査 3次調査

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2020年7月14日(火)～2020年7月20日(月)

【調査対象】 <共通条件>

全国の20～49歳の男女で現在独身者(2次調査回答者)

※独身者とは、結婚経験のない未婚者および結婚経験のある(死別・離別の)現在未婚者

2次調査回答者のうち、下記の個別条件にあてはまる人を対象した

<個別条件>

・継続利用:2020年2月以前から婚活サービスを利用して、現在も利用している人

・コロナ期婚活サービス新規利用:2020年3月～5月に婚活サービスの利用を開始し、現在も利用している人

・コロナ期婚活サービス中止:2020年3月～5月に婚活サービスの利用を中止した人

※現在利用とは、2次調査回答時点での利用状況

・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人

【有効サンプル数】 517サンプル

<3次調査回収サンプル構成>

利用者			非利用者
継続利用	コロナ期新規利用	コロナ期利用中止	
156	110	119	132

利用者・計:385サンプル

※3次調査は、2次調査対象者のうち個別条件にあてはまる人を抽出し、そのうち回答があった人で構成されている

※ウェイトバック集計はおこなっていない

【調査概要②】

■過去実施調査(2016～2019年調査)

【調査方法】	調査年	1次調査	2次調査
		インターネットによるアンケート調査	インターネットによるアンケート調査
【調査期間】	2019年調査	2019年5月20日(月)～2019年5月27日(月)	2019年5月27日(月)～2019年5月31日(金)
	2018年調査	2018年5月14日(月)～2018年5月22日(火)	2018年5月24日(木)～2018年6月6日(水)
	2017年調査	2017年5月16日(火)～2017年5月23日(火)	2017年5月19日(金)～2017年5月23日(火)
	2016年調査	2016年3月19日(土)～2016年3月29日(火)	2016年3月25日(金)～2016年3月29日(火)
【調査対象者】	2019年調査	全国の20～49歳の男女	<共通条件> 全国の20～49歳の男女で現在独身者(1次調査回答者) <個別条件> ・婚活サービス利用者(現在利用者・過去利用者):直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人 ・婚活サービス非利用者:婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人
	2018年調査		
	2017年調査		
	2016年調査		
【有効サンプル数】	2019年調査	50,000サンプル	2,400サンプル
	2018年調査		
	2017年調査		
	2016年調査		

利用者								非利用者							
結婚経験なし						結婚経験あり(死別・離別)		結婚経験なし				結婚経験あり(死別・離別)			
子なし						子あり		子なし				子あり		子なし	
男性			女性			男性	女性	男性		女性		男性		女性	
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代
150	150	150	158	158	134	150	136	150	150	150	150	150	150	157	157
<2019年本調査回収サンプル構成>															
80	36	15	77	39	9	11	14	489	328	289	436	216	202	70	87
(3.3%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.2%)	(1.6%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(20.4%)	(13.7%)	(12.1%)	(18.2%)	(9.0%)	(8.4%)	(2.9%)	(3.6%)
<2018年本調査回収サンプル構成>															
150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
<2018年調査補正後の本調査サンプル構成>															
53	26	11	58	28	5	6	5	508	338	292	449	226	209	88	98
(2.2%)	(1.1%)	(0.5%)	(2.4%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.2%)	(21.2%)	(14.1%)	(12.2%)	(18.7%)	(9.4%)	(8.7%)	(3.7%)	(4.1%)
<2017年本調査回収サンプル構成>															
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250
<2017年調査補正後の本調査サンプル構成>															
38	26	9	54	29	6	6	5	528	338	290	456	226	204	27	61
(1.6%)	(1.1%)	(0.4%)	(2.2%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(22.0%)	(14.1%)	(12.1%)	(19.0%)	(9.4%)	(8.5%)	(1.1%)	(2.6%)
<2016年本調査回収サンプル構成>															
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250
<2016年調査補正後の本調査サンプル構成>															
44	33	8	62	36	6	9	6	534	372	220	476	224	138	38	100
(1.8%)	(1.4%)	(0.3%)	(2.6%)	(1.5%)	(0.3%)	(0.4%)	(0.3%)	(22.3%)	(15.5%)	(9.2%)	(19.8%)	(9.3%)	(5.8%)	(1.6%)	(4.2%)

※2020年調査と同様にウェイトバック集計をおこなった。人口構成比算出元データは2019年調査、2018年調査、2017年調査は平成27年総務省統計局国勢調査、2016年調査は平成22年総務省統計局国勢調査

<その他>

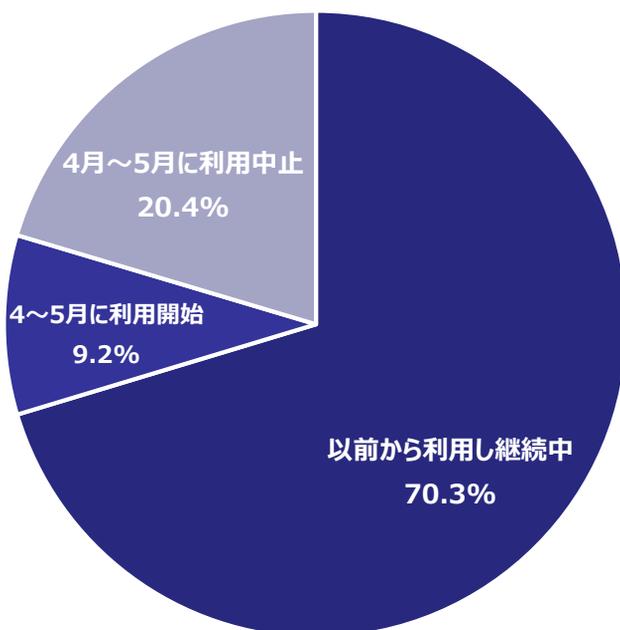
※P5下のグラフは2019年調査(2018年婚姻)より集計方法を変更しています。同条件とするために、2018年以前調査を過去に遡及して再集計をおこなったため、2018年までの公表数値と異なります。

※小数第二位を四捨五入している関係で、差分や合計値において、グラフ上の数値の単純計算と数値が異なる場合があります。

2020年4月から5月までに婚活サービスを利用していた人の約7割は、以前から利用し継続中。利用を中止した割合は2割にとどまる（以前から利用し継続中：70.3%/4月～5月に利用開始：9.2%/4月～5月に利用中止：20.4%）。

■ 2020年4月～5月における婚活サービス利用状況（4～5月まで婚活サービスを利用していた恋愛・結婚意向のある独身者/1次調査より/単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

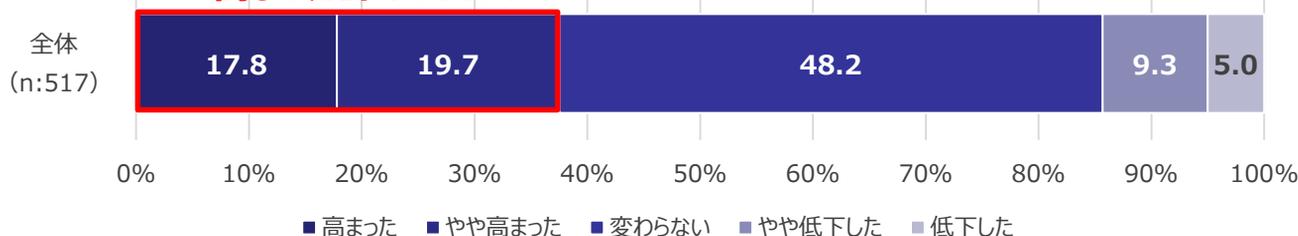


新型コロナウイルス感染症流行により、もともと恋愛・結婚意向があった独身者において、恋愛・結婚意向がさらに高まった割合が約4割（恋人がほしい 37.5%/いずれは結婚したい 41.6%）。恋愛・結婚意向が高まった人は、そうでない人と比較し、「人と過ごすことのありがたみ」「時間ができて将来を考える機会」が高まった・増えたとする割合が高い。恋愛・結婚意向の変化と「人と過ごすことの貴重さ」「将来を考える機会」との関係が深い。

■新型コロナウイルス感染症流行前からの恋愛・結婚意向の変化（恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス非利用独身者および2020年3-5月間の婚活サービス利用実績のある独身者/3次調査より/単一回答）

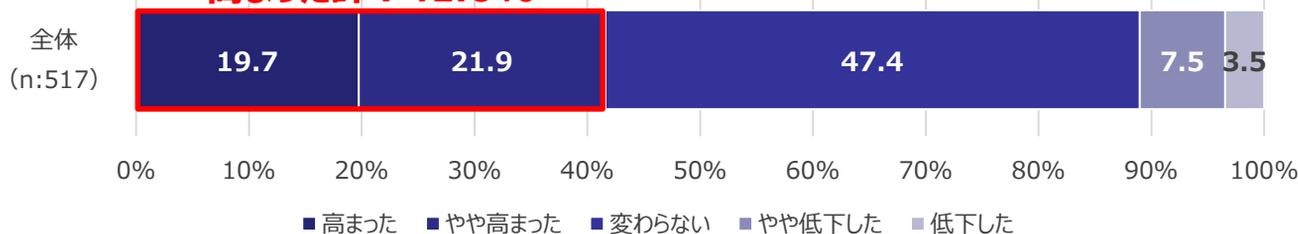
<恋人がほしい意向の変化>

高まった計：37.5%



<いずれは結婚したい意向の変化>

高まった計：41.6%

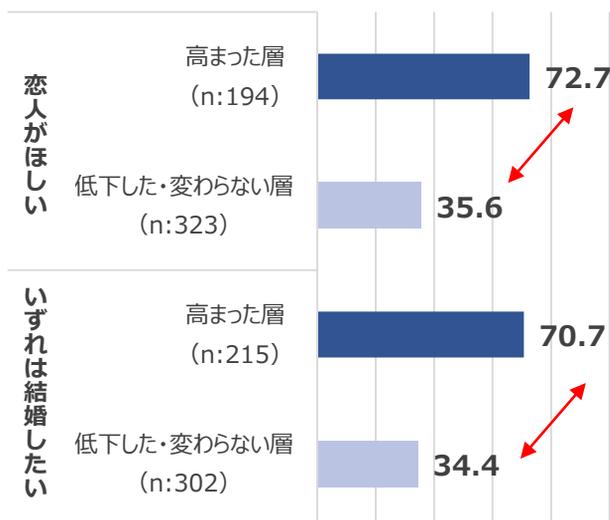


■恋愛・結婚意向の変化別新型コロナウイルス感染症流行前よりも意識・機会が高まった（増えた）と答えた割合（恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス非利用独身者および2020年3-5月間の婚活サービス利用実績のある独身者/3次調査より/単一回答）

<“人と過ごすことのありがたみ”が高まったと答えた割合>

※高まった=やや高まった・高まった 計

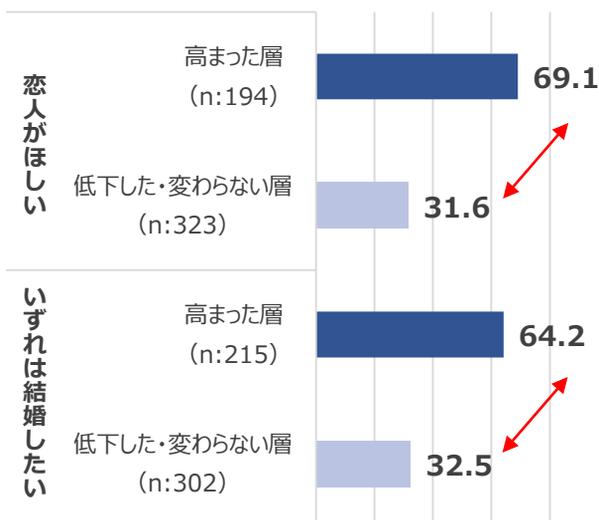
(%)
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0



<“時間ができて将来を考える機会”が増えたと答えた割合>

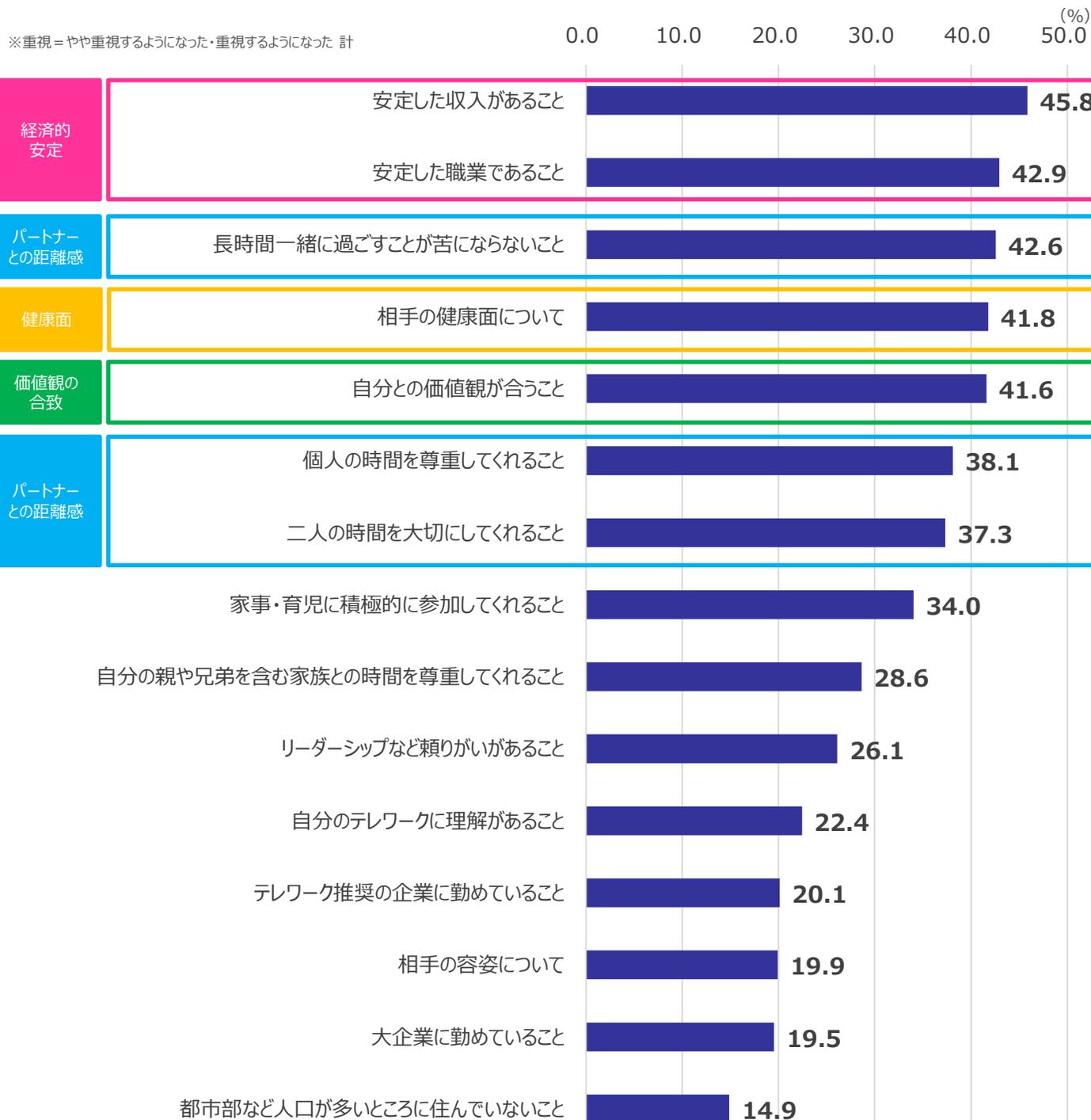
※増えた=やや増えた・増えた 計

(%)
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0



新型コロナウイルス感染症流行によって重視されるようになった結婚相手に求める条件の上位7項目は、「安定した収入」「安定した職業」「長時間一緒に過ごすことが苦にならない」「相手の健康面」「自分との価値観が合う」「個人の時間を尊重してくれる」「二人の時間を大切にしてくれる」。

■新型コロナウイルス感染症流行によって重視するようになった「結婚相手に求める条件」（恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス非利用独身者および2020年3-5月間の婚活サービス利用実績のある独身者／3次調査より／それぞれ単一回答）

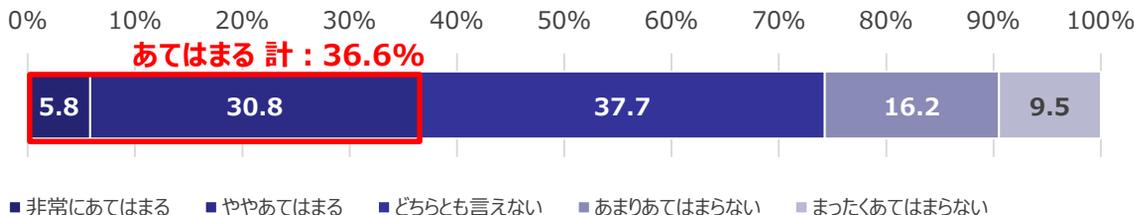


(各n=517)
降順でソート

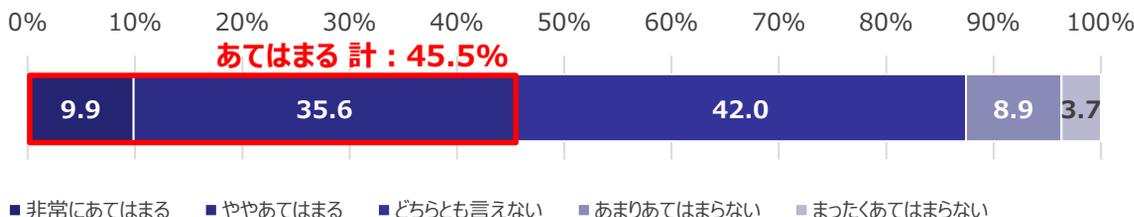
新型コロナウイルス感染症流行中の婚活サービス利用において、約3人に1人は「オンライン婚活であれば、新型コロナウイルス感染症流行中でもできる」と捉えている。
 オンラインデートに対する意識において、「費用を抑えながら婚活ができる（45.5%）」「周囲の目線を気にせず会える（35.8%）」「リアルで会うより時間が自由（35.6%）」と捉えている。

■新型コロナウイルス感染症流行中の婚活サービスに対する意識（恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス非利用独身者および2020年3-5月間の婚活サービス利用実績のある独身者／3次調査より／それぞれ単一回答）

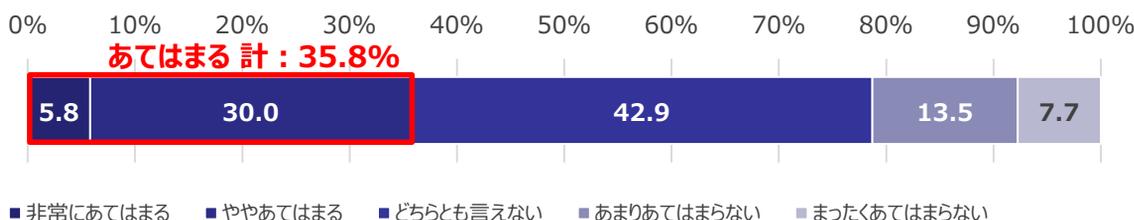
<オンライン婚活であれば、新型コロナウイルス感染症流行中でもできる>



<オンラインデートはリアルデートよりも費用を抑えながら婚活ができる>



<オンラインデートはリアルよりも周りから見られることがないため、周囲の目線を気にせず会える>



<オンラインデートはリアルで会うよりも時間が自由>

